

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2017～2018年度 国際ロータリー イアン H.S. ライズリー 会長テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ロータリー : 変化をもたらす

創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyac@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 吉原 孝彦  
幹事 出口 達也  
会報委員長 佐野 彰彦

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2987回例会プログラム

[当年度=13回目；当月=4週目]

2017年（平成29年）10月23日(月)

職場例会 於：NTP マリーナりんくう

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:30 1. 点鐘……………〈副会長〉  
2. 開会宣言  
3. ロータリーソング斉唱……………日も風も星も  
4. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
5. 食事

## 12:40 6. 副会長挨拶並びに副会長報告

7. 幹事報告  
8. 出席報告  
9. 委員会報告  
10. ニコニコボックス報告  
11. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(10/30) ……

クラブフォーラム(米山記念奨学委員会)

講師 米山学友 干 咏 様  
地区米山記念奨学委員会委員

加藤 英樹 様

(紹介者 關 淳之 会員)

※第1四半期皆出席の発表(出席委員会)

(11/6) ……

新入会員アワー 寺田 博正 会員

" 中村 育生 会員

## 2. クラブフォーラム……………〈司会：職業奉仕委員会〉

12:50～13:15

「名古屋トヨベットのマリン事業への取組み」

名古屋トヨベット株式会社

マリン事業部長

兼 NTP マリーナりんくう店長 <sup>はまだ</sup> <sup>ふみお</sup> 濱田 文生 様

(紹介者 杉浦 文雄 会員)

12. 謝辞

13. 諸事ご案内……………〈職業奉仕委員長〉

14. 点鐘……………〈副会長〉

13:20～14:00 見学

## 出席

会員総数 94名 出席免除 24名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 80名  
欠席 26名 出席率 67.50%  
前々回(10/2)の修正出席率 100%

## 幹事報告

- 1) 10月3日付で古屋俊児、山本善明会員が退会されましたので、会員数が94名となりました。

## シュランメル・ムジーク

堀田 昌義



スタートは、ワインの話からです。ウィーンの北方にあるカーレンベルクという丘の裾野に、700ヘクタールからのブドウ畑が広がっており、ここで生産されたワインを飲ませる居酒屋のことを「ホイリゲ」と

呼びます。このホイリゲで観光客相手に演奏されている音楽をシュランメル・ムジークといいます。ウィーンに観光に行かれた方は既に聴かれた方も多いかと思います。ヴァイオリン、アコーディオン、ギターの組み合わせで、2人組か3人組の楽師が演奏している音楽です。

発祥は19世紀後半、ヨハン・シュランメルとヨーゼフ・シュランメルというヴァイオリン弾きの兄弟が、ギターを加えてウィーンの民謡やワルツ、ポルカなどの音楽をホイリゲで演奏し人気になったのがきっかけで、その後宮殿や大邸宅のサロンでも演奏されるようになっていったものです。ヨハン・シュトラウスやブラームスなども大ファンだったそうです。

さて、このシュランメル・ムジークを聴こうと思ったら、まずホイリゲに行かないといけないわけですが、1軒だけお勧めの店をご紹介します。Mayer am Pfarrplatz（住所 Pfarrplatz 2, 1190 Wien）という店です。この建物は、一時期ベートーヴェンが住んでいたことでも有名で、ベートーヴェン・ハウスと呼ばれており、この場所自体が観光名所になっています。

ウィーンに行かれる機会があったら、ぜひ立ち寄ってみてください。新酒のワインも安くておいしいですよ。

〈職業奉仕委員会〉

## 「名古屋トヨペットのマリン事業への取組み」

名古屋トヨペット株式会社

マリン事業部長兼 NTP マリーナりんくう店長

濱田 文生 様



トヨタ自動車のマリン事業部を設立したことがきっかけで、愛知県内ではNTPが販売することになりました。まずNTPマリン事業は、ボート免許の委託講習から事業としてスタートしました。また、2000年に刈

谷市内でマリン事業を行っていたヤナセが撤退したため、その跡地を利用してボートの保管事業に乗り出しました。その後、高浜の貯木場跡地を開発して高浜マリーナを開設しました。開設後すぐに満杯になり困っていたところ、常滑⇄鳥羽のフェリーが廃止になり、空き地の有効活用をという常滑市の意向とNTPの意向が合致し、2011年3月11日に常滑市と契約調印を行いました。2013年4月にNTP MARINA RINKUがオープンしました。マリン事業として、保管・販売・サービスそして整備を行っています。NTPは特に整備事業に力を入れており、県外各地からの整備に対応ができるような工場を施設内に作りました。NTPのマリン事業全体で46名、常滑に26名の従業員がいますが、整備担当は14名で整備事業に携わる人員に力を入れています。

以下、施設の紹介をさせていただきます。



- マリーナハウス

メンバーはもちろん、すべてのボートオーナーやマリファンが快適に過ごせる空間とホスピタリティ。開放感あるスペースは、家族や友人、仲間との語らいのひとときを豊かに演出します。

- マリンプラザ

ボートの展示やフロント、ショップ、講習ルーム、資料コーナーなどを備えた多機能型コミュニケーション施設。ボート販売をはじめ、ボート免許教室・マリクラブを開催しています。

- ゲストハウス

ゆとりの空間に一流と呼ぶに相応しい厳選された調度品を配置。真の癒しを追求しました。

- 陸上保管ヤード

1万5千平方メートルを超える広大なスペースに充実した施設・設備を用意。大切なマイボート&ヨットを安心して保管していただけます。

- ホイストクレーン

60tと20tのツーウェイ方式。艇重計量装置により、艇重をデジタル表示し、吊りベルトの間隔を遠隔操作で任意に設定できるなど、高い安全性を確保するとともに、上下架作業時間を大幅に短縮します。

- 給油スタンド

合計6基の給油スタンドを完備し、海側からも陸側からも6基同時に給油可能。

- メンバー保管バース

45ft (13m) クラスから70ft (24m) クラスまで、最大35艇を係留保管できるメンバー専用バース。棧橋の入口にはセキュリティ付きゲートを設置し、セキュリティは万全。給水や給電などの設備も充実しています。

- 海上レスト

棧橋入口付近に、出航前やアフタークルージングの寛ぎに利用できる海上レストを設置。陽光のもと、潮風を浴びながら憩いのひとときを味わうことができます。また、海上レストの北側にはイベントスペースが設けられています。

- サービスセンター（修理・作業スペース）

70ft (24m) クラスの大型艇を4隻一度に収納できるスペースを確保し、様々なサービスメニューを提供。2階には、愛艇が修理されている状況を見学できるテラスを用意しています。また、センター全体に空調を完備するなど、作業しやすい環境をつくることで信頼性の向上と作業の迅速化を図っています。

